

8月23日(土) 東京 水道橋で  
「野生動物をペットにすることの問題について」  
の講演会 開催 (取材および告知のお願い)

動物との共生を考える連絡会(東京)は、平成26年8月23日(土)13時から、東京水道橋にある 貸し会議室 内海 において「動物の福祉を守る英国の法律」と題してシンポジウムを開催します。(受講料 一般1000円)

現在、日本各地において、大変多くなってきた「外来野生動物」の問題について取り上げ、安易なペットを購入しがちな夏休みに警鐘をならし、責任を持って最後まで飼いつけることを訴えます。

ペットとして飼われていた「カミツキガメ」や、「アライグマ」が、遺棄され、急に民家や路上に現れ、近隣住民の生活や安全をおびやかしたり、あるいは、池の中で繁殖したミドリガメやカミツキガメ、ブラックバスが驚異的な繁殖力で古来から日本に住んでいる在来種を駆逐し、絶滅させてしまうことが問題になっております。

同時に、動物側にとっては、本来生息すべき環境(気温・湿度・捕食活動)と異なる場所に、長時間の船便・航空便で移動させられ、飼育されることは、動物たちにも生死にかかわるリスクがあり、生き続けていくことにも大きなストレスがかかります。

今回、この問題に直接かかわっている行政担当者(環境省の野生生物課・厚生労働省の結核感染症課)をお呼びし、日本における「現状の問題」と、それを防ぐ行政の取り組み、また一般の方々がこの問題を正しく理解するための講義となりますので、ぜひ多くの方に知ってほしいという意味で、リリースさせて頂くものであります。

本講義によって、世界の生物多様性を尊重し、安易な気持ちでペットとして動物を飼いそれを遺棄することがどれほど、重大な問題になるかを理解し、動物にも人にもやさしい社会づくりのために、正しい認識が日本に広く根付くことが期待されます。多くの方に本講演の内容が伝わるよう、貴紙での告知、および当日、ご取材いただければ幸いと存じます。お取り計らいのほど、よろしく願いいたします。

「野生動物をペットにすることの問題について」

日時 : 平成26年8月23日(土) 13時-17時  
場所 : 貸し会議室 内海 3階教室  
(千代田区三崎町3-6-15)  
料金 : 一般 1,000円 会員・学生 500円  
講師 : 環境省 外来生物対策室 関根達郎  
厚生労働省 結核感染症課 福島和子  
日本動物福祉協会 山口千津子

【お問い合わせ先】  
動物との共生を考える連絡会

〒193-0813  
東京都八王子市四谷町  
1917-36コーポ中平202  
電話 & FAX 042-623-8797  
info@dokyoren.com  
担当 : 佐々木(ささき)